

# 環境影響評価書

東京へリポート拡張事業

昭和62年11月/5日

東京都

# 1. 総 括

## 1.1 事業者の氏名及び住所

氏 名：東京都 代表者 東京都知事 鈴木 俊一

住 所：東京都千代田区丸の内三丁目5番1号

## 1.2 対象事業の名称

東京ヘリポート拡張事業

〔飛行場の変更〕

## 1.3 対象事業の内容の概略

この事業は、現在の東京都東京ヘリポートを、将来の航空需要に対応した安全なヘリポートとして整備するものであり、その計画の概略は表1-1に示すとおりである。

表1-1 事業計画の概略

項 目	既 設	変 更 後	拡張面積	
敷 地 面 積	118,443 m <sup>2</sup>	149,135 m <sup>2</sup>	30,692 m <sup>2</sup>	
基本施設	滑 走 路	2,700 m <sup>2</sup> (90m×30m)	3,000 m <sup>2</sup> (100m×30m)	300 m <sup>2</sup>
	誘 導 路	1,200 m <sup>2</sup> (2×40m×15m)	2,430 m <sup>2</sup> (2×81m×15m)	1,230 m <sup>2</sup>
	エ プ ロ ン	22,590 m <sup>2</sup>	34,000 m <sup>2</sup>	11,410 m <sup>2</sup>
安全施設	コンパス修正場	な し	1,600 m <sup>2</sup> (40 m × 40 m)	1,600 m <sup>2</sup>
	ホバリングテスト場	な し	4,200 m <sup>2</sup> (60m×70m)	4,200 m <sup>2</sup>
	スクエア・パークン テスト場	な し		
格納庫用地等	19,300 m <sup>2</sup>	24,300 m <sup>2</sup>	5,000 m <sup>2</sup>	
滑走路処理能力	5万5千回/年	5万5千回/年	—	

#### 1.4 環境に及ぼす影響の評価の結論

地域の概況と事業の内容を考慮して選定した予測・評価項目について現況を調査し、対象事業の及ぼす影響について予測・評価した。その結論は表1-2に示すとおりである。

表1-2 環境に及ぼす影響の評価の結論

予測・評価項目	評 価 の 結 論
1. 大気汚染	<p>工事車両の走行及びアクセス交通による二酸化窒素及び一酸化炭素の付加濃度は少なく、影響は軽微であると考ええる。</p> <p>また、建設機械の稼働による大気汚染の付加濃度は少なく、影響は軽微であると考ええる。</p>
2. 騒音	<p>工事車両の走行及びアクセス交通による騒音レベルの増加は少なく、計画地域周辺における影響は軽微であると考ええる。</p> <p>建設機械の稼働による騒音レベルは、勧告基準値以下であるので、影響は軽微であると考ええる。</p> <p>ヘリコプターの運航によるWECPNLが環境基準値を超えている地域は、大部分が計画地域周辺の工業専用地域であるので、影響は軽微であると考ええる。</p>
3. 振動	<p>工事車両の走行及びアクセス交通による振動レベルの増加は少なく、影響は軽微であると考ええる。</p> <p>また、建設機械の稼働による振動レベルは、勧告基準値を下回っており、影響は軽微であると考ええる。</p>
4. 低周波空気振動	<p>ヘリコプターの運航による低周波空気振動の影響は軽微であると考ええる。</p>
5. 電波障害	<p>計画地域周辺のテレビ受信状況は概ね良好であり、ヘリコプターの運航によるフラクチャー障害の発生は予測されず、影響はないものと考ええる。</p>
6. 景観	<p>事業は、滑走路の移設及び駐機場等の拡張であり、景観への影響は少なく、また、拡張区域を見渡せる地域は計画地域周辺に限定されており、影響は軽微であると考ええる。</p>

## 1. 5 評価書案の修正の概略

評価書案の修正の概略は、表1-3のとおりである。

表1-3 評価書案の修正の概略

修正箇所	修正事項	修正内容及び修正理由
5. 現況調査・予測・評価		
5.2 騒音	図表の修正	現況調査結果の内容について、パワー平均を追加した。
5.4 低周波空気振動	内容の修正	現況調査結果の記述を修正した。
	図表の追加	現況調査結果の補足資料を資料編に追加した。